

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖駅周辺まちづくり検討委員会（第3回）		
開催日時	平成27年12月15日（火） 10:00～10:30	開催場所	ベストアメニティスタジアム 第2会議室
出席者数	20人	傍聴人数	10人
議 題	(1) 第1回勉強会の意見概要 (2) 鳥栖駅の整備手法等について (3) 市民アンケート調査について (4) 基本構想策定までの流れ		
配布資料	(1) 第1回勉強会の意見概要 【資料1】 (2) 鳥栖駅の整備手法等について 【資料2】 (3) 市民アンケート調査について 【資料3】 (4) 基本構想策定までの流れ 【資料4】		
所 管 課	(課名) まちづくり推進課 (電話番号) 85-3601		

第3回 鳥栖駅周辺まちづくり検討委員会

日 時 : 平成27年12月15日(火) 10時00分～10時30分

場 所 : ベストアメニティストジアム第2会議室

1. 開会

2. 議事

(1) 第1回勉強会の意見概要(資料1)

事務局より資料説明

<質疑応答>

委員長	<p>道路のところでは3つ目に「都市計画道路の整備には多額の予算と長い期間が必要だろうが、計画的な整備は必要である」とありますが、多額の予算と長い期間が必要だからこそ、計画的な整備が必要であり、居住環境の快適性やまちの活性化に向けて、‘戦略的’という言葉を用いても良いくらい、しっかりと整備を行っていきべきだろうと思います。</p> <p>また、東側の公有地について「商店街や既存商業施設と競合する商業系の施設は避けるべき」とありますが、駅周辺だけが儲かり活性化施設として存続していても、市全体に波及効果が広がっていかないと意味がないので、そういうところに気をつけながら、施設誘致を検討していくべきだと思います。</p>
委員	<p>現在の用途地域は工業地域であるため商業地域に変更するということが、簡単に変更できるのか。</p>
事務局	<p>佐賀県とも相談しながら、なるべく早くできるようにしたい。事業着手まで十分相談する時間はある。</p>
委員長	<p>しっかり県と市が協働しながらやっていただきたい。</p>

(2) 鳥栖駅の整備手法等について(資料2)

事務局より資料説明

<質疑応答>

委員	<p>ケース2「橋上駅、道路単独立体交差」は、今まで議論した中でコスト的に見ても、景観面からも望ましい。新しいテーマ・目的に合致している。私としては、ケース2案が最適と考えます。</p>
委員	<p>ケース2は効果発現まで25年から30年必要という説明でしたが、それをもう少し早めることはできないのでしょうか。</p>

事務局	<p>3本の道路を同時に事業化することは、市の財政を鑑みると困難ではないかと考えています。まずは、駅舎と自由通路を10年程度で整備し、その後、段階的に道路を整備することになります。</p> <p>道路整備には都市計画道路の見直しが必要となります。その結果を受けて、3本の都市計画道路の中で特に整備が必要であると決定された道路につきまして、事業費の平準化ということを念頭に置きながら、駅の整備後、順次着実に整備することになります。</p> <p>道路の整備も含めると25年から30年程度の時間は必要だろうと考えています。</p>
委員	<p>3本の道路も含めた整備が完成まで25年から30年必要で、駅だけであれば10年程度。駅が優先順位1番ということでしょうか。</p>
事務局 委員長	<p>そうです。</p> <p>今のご意見は非常に重要です。ケース2とケース3は整備期間が短く、効果の発現が早い。これはまちづくりの上で、九州内の都市の中で鳥栖市が先手を打つことができるということでもあります。鳥栖市を取り巻く状況は、30年も経てば変わってしまう可能性もありますので、先に鳥栖市から周辺を変えていくということも考えられます。</p> <p>また、拠点整備は早くやるべきですが、道路整備はどうしても予算上、時間がかかります。拠点を整備した後に、道路交通網の状況が変わってくる可能性があるため、それに併せて順次方向性を見直していくこともできる。そのような意味で、すべての事業が10年で終わるのではなく、10年で拠点駅を作った後に、周りの状況を見ながら次の事業を進めていくこともメリットとして考えられます。</p>
委員	<p>駅舎を出来るだけ早く整備してほしい。既に40数年待っている。道路は時間がかかるかもしれないが、駅舎は早く着手してほしい。</p>
委員長	<p>検討委員会等でのこれまでの議論において、整備手法の方向性を決めるに当たって、市に対して提言書を提出するということにしていました。委員の皆様は事前に内容を確認していただいておりますが、お手元の提言書(案)をもう1度確認していただけないでしょうか。ポイントは、橋上駅を核として、駅周辺を整備していくこと。継続して都市計画道路の見直しを含めた検討を行っていくこと。この提言を受けて市の方針決定を早急に決定していただくこと。検討委員会としては、市の方針決定を受けて駅周辺のまちづくりの将来ビジョンの具体的な検討に入っていくこと。</p>
委員	<p>この提言書について何かご意見等がありますでしょうか。</p> <p>橋上駅の事業費は230億円とあるが、将来どれくらい高騰するのか。300億、400億となることはあるのか。特にオリンピックの関係でどんどん事業費が上</p>

事務局	<p>がっていくことはないのか。</p> <p>用地補償費等を含めて事業費を精査していくと、後々、事業費は変わってくるだろうと思います。オリンピック関連では、資材の高騰、人手不足等の影響を考えますと、事業費が上昇する可能性があると思っております。</p>
委員	<p>230億と記載されているが、これは駅舎だけでなく道路も含めての事業費でしょう。駅舎だけであれば、そこまで費用はかからないのではないかと。</p>
事務局	<p>駅舎と自由通路のみであれば40億円です。</p>
委員	<p>それも借金になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>国の補助金を見込むと、自治体負担が約半分となります。</p>
委員	<p>それも含めて、我々の負担が増えていく。これから消費税なども増税になる。</p>
委員長	<p>きちんと使ってもらえる駅を作り、かつ駅周辺に確実な効果が出るようにしなければいけない。</p> <p>内容がよろしければ、市長に提言書を提出したい。</p> <p style="text-align: center;">(委員長より市長に提言書を提出)</p>
市長	<p>本日は「鳥栖駅の整備手法等に関する提言書」を頂戴し、ありがとうございます。</p> <p>橋上駅を核とした鳥栖駅周辺の整備、そして都市計画道路の見直しを含めて、駅周辺に限らず道路ネットワークについても引き続き検討し、あるべき姿を模索せよということでございました。また、駅についてはなるべく早く整備せよというご指摘も頂戴しました。大変な予算・費用をかける事業であるため費用対効果を最大限発揮し、市民の皆様に、やって良かったと言われるような整備を心がけてまいりたいと考えております。</p> <p>今回、提言を頂戴いたしまして、鳥栖市としましても早急に方針を決定し、具体的な歩みにつなげてまいりたいと考えております。委員の皆様におかれましては、来年、基本計画ということで、より具体的な内容に踏み込んだ検討も引き続き行っていただきたいと考えております。それぞれの立場からのご意見、市民の皆様からのご意見を踏まえた、より良い計画としていきたいと考えておりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>本日はありがとうございます。</p>

(3) 市民アンケート調査について (資料3)

基本構想策定までの流れ (資料4)

事務局より資料説明

<質疑応答>

委員長 委員	今の事務局の説明に対して、ご質問、ご意見はありますか。 調査方法は郵送となっているが、インターネットを使った回収は考えていないのか。国勢調査でもインターネット調査を行っているので、郵送・インターネット両方での回答を可能としてはどうか。
委員長	インターネットの調査は、非常に簡単で意見の集約もしやすい。一方で、調査をする側にとっては、サーバーや調査の Web の立ち上げ等に時間がかかります。また、大量のデータを取得しようとするとき一定の性能をもったコンピューターも必要になります。
委員	絶対にインターネット調査をしろという意見ではないんですが、調査手法にインターネットが入っていなかったのです。
事務局	委員長がご説明されましたとおり、インターネット調査は、専用サーバーの立ち上げや集計するソフトウェア等の環境整備に時間がかかります。年明け早々に調査票を発送したいと考えておきまして、時間的・経費的な問題から、今回は郵送での送付・回収という手法を取らせていただきたいと思いますと考えております。
委員長 事務局 副委員長	確認ですが、パブリックコメントはどうするのでしょうか。 パブリックコメントは、市報とホームページで行います。 アンケート調査の設問は、鳥栖駅周辺地区というのがどこを示しているのか、どこの場所に対する意見なのかがわかるように設定する必要があると思います。また、すべての設問に対して、広いエリアである鳥栖駅周辺地区を対象とすることが妥当なのか、駅前などもう少し狭めたエリアを対象とするのか、設問項目によって検討した方がよいと思います。
事務局	質問ですが、対象者 2,000 名は無作為抽出なのでしょうか。日常的に鳥栖駅周辺地区を使っている、または鳥栖駅周辺に居住している住民がどの程度含まれるのでしょうか。 対象者の抽出は無作為です。既に対象者の抽出を進めておりますが、鳥栖駅周辺地区は人口が多いことから、駅周辺の居住者はそれなりの数を郵送することができそうです。一方で、鳥栖駅から遠い地域に居住している方にアンケートを配布することの是非を検討しましたが、先ほど委員からご懸念があったように、やはり市民の皆様からいただいた税金で行う事業であるため、鳥栖市民全体にお伺いすべきだろうということでこの方法としています。
副委員長	市民全体に意見を伺うことは必要だと思います。鳥栖駅周辺に居住されている方の数がある程度確保できているのであれば構いません。
事務局	アンケート実施に当たり、鳥栖駅周辺地区を図で示すこととしております。また、属性の中に住所を記載する項目を設けて、分析の際には、エリア内居

	<p>住者のご意見、エリア外居住者のご意見が分かるようにしたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>予算等については市議会で審議されると思います。市議会に設置されている調査研究特別委員会とこの検討委員会との調整はどのようにするのか。我々の提言書に対して、調査研究特別委員会が反対することはないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>調査研究特別委員会は市議会議員で構成されており、自主的な研究調査を行うことを目的に設置されています。今回の基本構想を踏まえ、来年度の基本計画策定に係る予算について、3月議会に審議を賜ることになります。これらの審議は総務文教常任委員会に付託することになります。調査研究特別委員会では、市の事業・予算を審議するというにはなっておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>先日、調査研究特別委員会を傍聴したが、全く同じ内容を検討していたので。</p>
<p>委員</p>	<p>検討委員会の資料については、当然、議員は目にしますよね。でも市議会の特別委員会の資料は、今のところ市民の皆さんに報告されていない。</p>
<p>事務局</p>	<p>検討委員会でお示しした資料は、調査研究特別委員会にもお見せしているため、内容は一緒です。</p>
<p>委員</p>	<p>だから最初に、議員も検討委員会に入ってはどうかと提案したんです。</p>
<p>委員長</p>	<p>提言書は、鳥栖市役所のホームページからダウンロードできるようにしておけば、市民の皆さんも見ることができる。</p> <p>また、副委員長がおっしゃられているように、このようなアンケート調査は、抽象的な意見だけが返ってきて、調査しなくても分かったよねという結果になりがちなので、出来るだけ場所を特定することが必要。駅周辺といっても駅の西側と東側では特徴・特性が異なるため、どこの場所について、どういう意見を持っているのかを把握できるような設問の作り込みをお願いしたい。</p>